

### 記載例（給与収入のみの場合）

## 令和8年度分 市民税・県民税申告書

(あて先)

現住所（印字されている住所と同じ場合は不要）、  
フリガナ、氏名、生年月日、電話番号、個人番号を  
記入してください。

現住所			電話番号	×××-〇〇〇〇-□□□□	
令和8年1月1日 現在の住所	鹿児島市山下町11-1		業種・職業 (勤務先)	××××〇〇〇〇□□	
フリガナ	カゴシマ タロウ		個人番号	111111111111	
氏名	鹿児島 太郎		世帯主名	続柄	
生年月日	明・大昭平・令	〇〇年	〇月〇〇日	整理番号	
代理申告	氏名		続柄	電話番号	

社会保険料控除は  
支払金額を、生命  
保険料控除などは  
申告額を記入して  
ください。

収入金額を記入してください。

(2か所以上から給与を受給している場合は、合計額を記入してください。)

入 金 額 第	⑥ 給与	区分	64	8	2,500,000
雜	⑦ 公的年金等		10		
	⑧ 業務		60		
	⑨ その他		61		

令和7年分 給与所得の源泉徴収票

源泉徴収票がない場合は、裏面も記入してください。

所得から差し引かれる金額に関する事項						
⑫ 社会保険料控除	国民健康保険	後期高齢者医療保険	介護保険	国民年金		
	円	円	20,000 円	円		
	源泉徴収票の社会保険料欄の金額		合 計			
	200,000 円		円			
⑬ 小規模企業共済等掛金控除 円						
⑭ 生命保険料控除	新生命保険料の計		新個人年金保険料の計	介護医療保険料の計		
	56	10,000 円	57	円		
	旧生命保険料の計		旧個人年金保険料の計			
⑮ 地震保険料控除	地震保険料の計		旧長期損害保険料の計			
	44	円	45	円		
	5,000 円		46 円			
⑯～⑯ 本人控除 (申告者本人)	⑯ □ 寡婦控除		⑯ □ ひとり親 控除	⑯ □ 勤労学生控除 (学校名)		
	□ 死別	□ 生死不明				
	□ 離婚	□ 未帰還				
⑯ 障害の程度 □ 身体 □ 精神 □ 療育 級・度 その他( )						
⑯ 配偶者控除・ 配偶者特別控除・ 同一生計配偶者	氏名		同居別居の区分	生年月日		
	鹿児島 花子		同居・別居	明・大昭・平		
	⑯ 障害の程度 □ 身体 □ 精神 □ 療育		級・度	その他( )		
	□ 同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く。)		合計所得金額	48 円		
個人番号 900						
⑯⑯ 扶養控除・ 特定親族 特別控除	氏名		続柄	特親	同居別居の区分	生年月日
	鹿児島 花子				同居・別居	明・大昭・平
	⑯ 障害の程度 □ 身体 □ 精神 □ 療育		級・度	その他( )		
	個人番号 900					生年月日
	1 ⑯ 本人控除(ひとり親控除・障害者控除等)・配偶者控除・扶養控除等に該当するものがあれば記入してください。					生年月日
	氏名		続柄	特親	同居別居の区分	生年月日
	鹿児島 一郎		子	同居・別居	平・令	○・○・○
	⑯ 障害の程度 □ 身体 □ 精神 □ 療育		級・度	その他( )		
	個人番号 911					生年月日
	2 ⑯					生年月日
氏名		続柄	特親	同居別居の区分	生年月日	
鹿児島 一郎		子	同居・別居	平・令	○・○・○	
⑯ 障害の程度 □ 身体 □ 精神 □ 療育		級・度	その他( )			
個人番号 912					生年月日	
3 ⑯					生年月日	
氏名		続柄	特親	同居別居の区分	生年月日	
鹿児島 一郎		子	同居・別居	平・令	○・○・○	
⑯ 障害の程度 □ 身体 □ 精神 □ 療育		級・度	その他( )			
個人番号 913					生年月日	
16歳未満の 扶養親族 (扶養控除 対象外)					生年月日	

本人控除（ひとり親控除・障害者控除等）・配偶者控除・扶養控除等に該当するものがあれば記入してください。

㉑ 雑損控除	損傷の原因	損傷年月日	損傷を受けた資産の種類
	損傷金額	保険金などで補てんされる金額	差引損失額のうち災害関連支出の金額
	円	円	円
㉒ 医療費控除	A 支払った医療費	B 保険金などで補てんされる金額	C 差引負担額（A - B）
	104 円	105 円	円

## 6 営業・不動産所得の収支内訳書（令和7年 月 日～月 日）

科 目		金 額		科 目		金 額	
所得の種類		営 業	不 動 産	所得の種類		営 業	不 動 産
収 入 金 額	(1) 売上(収入)金額	円	円	(15) 借入金利子	円	円	円
	(2) 家事消費			(16) 租税公課			
	(3) 賃 貸 料			(17) 水道光熱費			
	(4) 権 利 金 等			(18) 旅 費 通 信 費			
	(5) その他の( )			(19) 広 告 宣 伝 費			
	(6) 収入金額計			(20) 接 待 交 際 費			
売 上 原 価	(7) 期首棚卸額	円	円	(21) 修 繕 費			
	(8) 仕 入 金 額			(22) 消 耗 品 費			
	(9) 期末棚卸額			(23) 損 害 保 険 料			
	(10) 差引原価【(7)+(8)-(9)】			(24) 必 要 経 費 計			
	(11) 差引金額【(6)-(10)】	円	円	(25) 専 徒 者 控 除 額	円	円	円
	(12) 納 料 賃 金	円	円	(26) 青 色 申 告 特 別 控 除 額			
必 要 経 費	(13) 外 注 工 賃			所得金額【(1)-(24)-(25)-(26)】		円	円
	(14) 減 価 償 却 費						

## 7 減価償却費の計算

減価償却費(定額法) 平成19年3月31日以前の取得 取得価格×0.9×(旧)償却率×本年中の償却期間×事業専用割合=減価償却費

平成19年4月1日以後の取得 取得価格×(新)償却率×本年中の償却期間×事業専用割合=減価償却費

減価償却資産の名称等	面積・数量等	取得年月	取 得 価 格	耐 用 年 数	償却率	本年中の償却期間	本年分の普通償却費	事業専用割合	本年分の必要経費	未 債 却 残 高
			円	年		月 /12	円	%	円	円
						月 /12				

## 8 給与収入の内訳

※源泉徴収票がない方等

月	日 給	勤務日数	月 収
1	円	日	円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
賞与等			円
合 計			円
法 人番号又は 所 在 地			
勤 務 先 名			
電 話 番 号			

## 9 配当所得に関する事項

配当所得の種類	支払者の名称及び法人番号又は所在地等	支払確定年月	収入金額	必要経費
			円	円

源泉徴収票がない場合は、「8 給与収入の内訳」に記入してください。

収入金額	必要経費
円	円

## 11 総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項

	A 収入金額	B 必要経費	C 差引金額(A-B)	D 特別控除額	E 所得金額(C-D)
総合譲渡	短期	円	円	円	円 a
	長 期				b
	一 時				c

a・b・cの金額を、おもて面の「1 収入金額等」にご記入ください。

合計をおもて面の「2 所得金額」の「⑩総合譲渡・一時」にご記入ください。

合計【a+(b+c)×1/2】

## 12 事業専従者に関する事項

所得税における青色申告の承認 有・無

氏 名	続柄	生 年 月 日	個 人 番 号	従 事 月 数	専 徒 者 給 与(控除)額
					円

## 14 寄附金に関する事項 寄附金受領証明書の提示又は添付が必要です。

寄附先の名称	寄 附 金
	円

## (寄附金内訳)

都道府県、市区町村分 (特例控除対象)	円	条 例 指定分	鹿児島県	円
鹿児島県 共同募金会、日赤支都	円		鹿児島市	円

## 15 鹿児島市内に事業所・家屋敷を有する方 ※住所が鹿児島市外にある方

事 業 所 (家屋敷)	事 業 所 名(勤務先名)
納税通知書送付先	

## 17 所得金額調整控除に関する事項

フ リ ガ ナ	続柄	生 年 月 日	明・大・昭 平・令	特 別 税 事 情 に 該 当 す る 場 合	級 度	別 居 の 場 合 の 住 所
氏 名						
個人番号						

## 18 申出書(令和7年1月～12月に収入のなかった方)

※該当するものに○をして、必要事項をご記入ください。

(1) 私は下記の者から、扶養又は援助を受けていました。 住所_____ 氏名_____ 続柄(_____) 電話番号_____	(4) 私は(ア) 遺族年金、イ 障害年金、ウ 老齢福祉年金)を受給していました。 受給額_____ 円
(2) 私は雇用保険(失業保険)、労災保険を受給していました。 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで	(6) 私は生活保護法による生活扶助を受けていました。 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで
(3) 預貯金にて生活していました。	(7) その他( (1)～(6)に該当しない場合 ) _____